

ワイヤレスマイクの 周波数合わせ

Shure BLX88（受信機）× BLX2/B58-JB（ハンドマイク送信機）

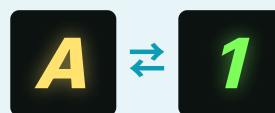
POINT やることは「表示をそろえる」だけ



受信機 BLX88 の表示
ミキサー側に置く本体



同じにする



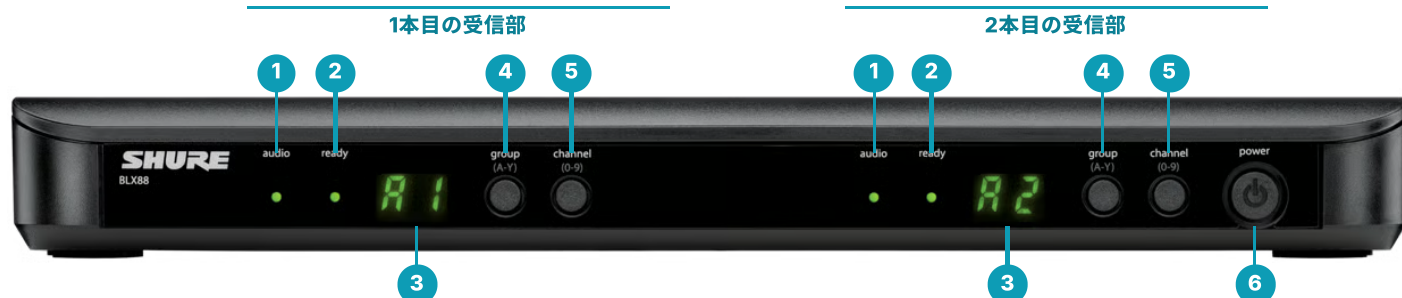
送信機 BLX2 の表示
1文字表示。英字と数字を交互に出します

英字 **A** = グループ（group ボタンで変える）
数字 **1** = チャンネル（channel ボタンで変える）

● 2つがそろって、受信機の ready ランプが緑に点灯 = つながった合図

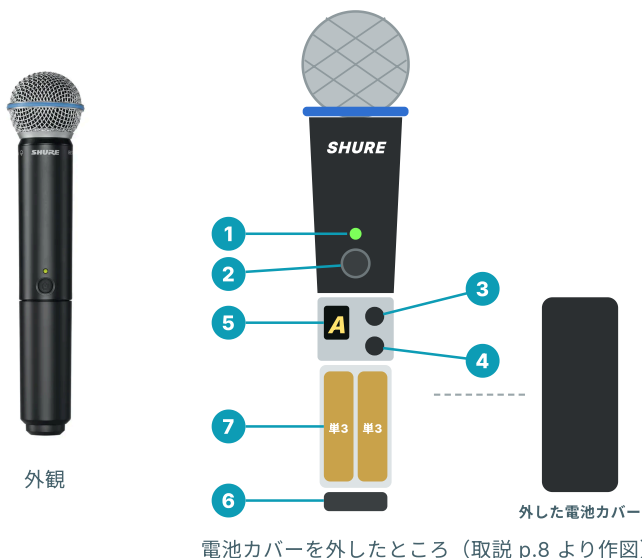
RECEIVER 受信機 BLX88 の各部

BLX88 は1台で2本分の受信機です。左半分が1本目、右半分が2本目。表示・ボタンも背面の出力（XLR）も別々です。



- 1 audio ランプ：音の大きさ。緑＝正常／赤＝入りすぎ
- 2 ready ランプ：緑点灯＝送信機とつながっている
- 3 表示：グループ（英字）とチャンネル（数字）
- 4 group ボタン：押してすぐ放す＝空き周波数の自動スキャン／長押し＝グループを手動で選ぶ
- 5 channel ボタン：チャンネルを手動で選ぶ（ふだんは触らない）
- 6 power ボタン：長押しで電源オン／オフ

TRANSMITTER 送信機 BLX2/B58-JB の各部



- 1 ランプ：緑＝準備OK／赤点灯＝電池残り約1時間／赤の速い点滅＝ロック中
- 2 power ボタン：押して電源オン／長押しでオフ
- 3 group ボタン：グループ（英字）を変える
- 4 channel ボタン：チャンネル（数字）を変える。5秒長押しで音量の切り替えにも使う
- 5 表示：1文字。英字（グループ）と数字（チャンネル）を交互に出す
- 6 識別キャップ：マイクの見分け用
- 7 電池：単3アルカリ×2本

表示と group / channel ボタンは、電池カバーを外した中にあります。

合わせ方 受信機 BLX88 を1台 + 送信機 BLX2 を2台

準備 送信機は2台とも電源オフのまま、受信機だけ入れる

1

BLX88 をミキサーにつなぎ、**power** を長押しして電源オン。会場の他のワイヤレス機器は、先に電源を入れておきます。

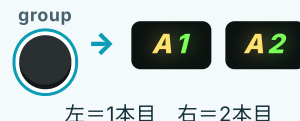
XLR 端子は1本目用・2本目用で別々。使うチャンネルごとに1本ずつミキサーの別々の入力へつなぎます（2本使うならケーブル2本）。



2

受信機 group を「押してすぐ放す」→ 自動で空きを探す

受信機が電波の空いているグループとチャンネルを探して、自動で決めます。BLX88 は左右2本分がまとめて決まります。決まった表示（例 A1 と A2）をメモしておきます。



3

送信機 1本目 BLX2 の表示を、受信機の左側と同じにする

power ボタンを押して電源オン → 電池カバーを外す。**group** を1回押す（表示が点く）→ もう1回押す（点滅する）→ 点滅中に押すたび英字が進むので、受信機と同じ英字で止めます（送信機の表示は1文字です）。数字も **channel** ボタンで同じ手順でそろえます。

そうとう受信機の ready ランプが緑に点灯します。送信機は2秒ほどグループとチャンネルを交互に表示します。



4

送信機 2本目 1本目はオンのまま、2本目を右側に合わせる

手順3と同じ操作で、2本目の BLX2 を受信機の右側の表示（例 A2）にそろえます。

合わせ終わった送信機は電源を入れたままにします。切ると、次にスキャンするとき使用中の周波数として検出されません。



5

音の確認 声を出して audio ランプを見る

ふつうに話して緑ならOK。赤が頻繁に点くときは **channel** を5秒長押し。表示の右下に点が出たら -10dB です（戻すときも同じ操作）。グリルは手で覆わないように持ちます。



6

本番前 ボタンをロックして、うっかり変更を防ぐ

送信機：group を押したまま channel を約2秒 → ランプが速く点滅したらロック。**受信機**：group と channel を同時に長押し → 表示が速く点滅。解除も同じ操作です。



● つながらない (ready が消えている)

- 送信機の電源が入っているか（ランプが点灯）
- 電池の向き・残量（新しい単3アルカリに交換）
- 英字と数字が受信機と両方そろっているか
- 左右を取り違えていないか（1本目＝左）

● 音が途切れる・ノイズが出る

- 受信機と送信機を両方別のチャンネルに変える
- 送信機同士は2m以上、受信機からは5m以上離す
- 受信機を見通しのよい高い所へ。金属の近くは避ける
- スマホ・Wi-Fi 機器・パソコンを受信機から離す

BLX88 を2台以上（マイク3本以上）使うとき

- 1台目を上の手順で合わせ、**送信機は電源を入れたままにします**。
- 2台目の受信機は **group** を長押し → 表示が点滅したら押して1台目と同じ英字にし、指を放します。空いているチャンネルが自動で選ばれるので、送信機をそれに合わせます。
- 空きが足りないときはグループ「d」を手動で選びます。最後に全マイクで音を確認します。